

INON

ストレートビューファインダーユニット II D10

- 製品内訳 :
- ・ STVF II D10 本体 ①×1
 - ・ レンズキャップ ②×1
 - ・ 予備 O リング ③×1

- 対応ハウジング :
- ・ X-2 R5 Mark II
(2025 年 1 月現在)

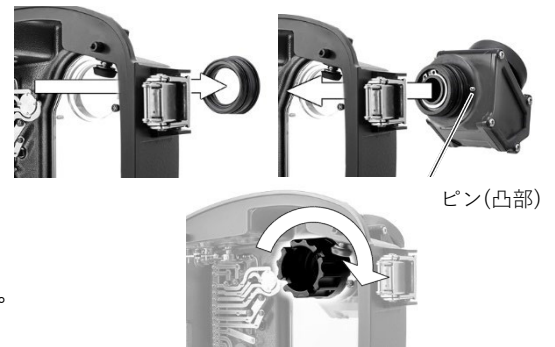


- 取り付け方法 :
- ・ オプションの「X-2 ファインダーユニット専用工具」を用いて、ハウジングリアボディ裏側から「ファインダーユニット固定ネジ環」を取り外します



- ・ ハウジングにもともと備わっていた他ユニットを、外側に引き抜くように外します。

- ・ ビューファインダーユニットをセットします。ビューファインダー根元側の 2 本のピン (凸部) を、ハウジングリアパネルの凹部に合わせて押し込んでください。(画像は「45° ビューファインダーユニット」)



- ・ 「ファインダーユニット固定ネジ環」を、「ファインダーユニット専用工具」を用いて締め込みます。

- ・ 取り付け後、「バキュームリークセンサー」にてリークチェックを実施ください。

- オプションについて :
- ・ レンズキャップ(45° VF/STVF for X-2 用)
製品内訳画像中の②です。

- ・ 交換用 O リング(45° VF/STVF for X-2 用)
製品内訳画像中の③です。

- ・ 視度補正レンズ[+1.5D] for 45VF-II/STVF-II
カメラのファインダー視度調整範囲を超えて遠視や老眼の方に、調整範囲を(+1.5 ディオプター)シフトする視度補正レンズ。
本ファインダーマウント側の穴へ落とし、付属の工具で締めて固定します。
(水中での着脱不可)

- ・ X-2 ファインダーユニット専用工具
本製品の着脱を行うための専用工具。



—— ファインダーの視度調整について ——

陸上は明るいので目の瞳孔は絞られており、被写界深度が深い状態です。この状態でファインダーの視度調整をしても、被写界深度内でセットしているだけであり“ジャスピン”ではありません。

これに対し暗い水中に入ると、瞳孔(絞り)は徐々に開いて被写界深度が浅くなり、結果的にピント調整機能が衰えた老眼の方はファインダー像が見えなくなります。個人差や年齢にもよりますが、暗順応で瞳孔が開くまで 15 分前後かかります。

水中より暗い陸上の部屋で、かつ瞳孔が開くまで 15 分ぐらい待ってから、カメラのファインダー視度調整をすれば、そこが“ジャスピン”となり、暗い水中で瞳孔が開いてもピントを合わせることができます。

適切な方法で事前に陸上で視度調整を行えば、高価となる水中での視度調整機能は必要ありません。
